

第26回国際連携WGでの議論要旨

研究開発成果の国際発信および第3回SIP-adus Workshopについて

説明概要	<u>研究開発成果の海外発信の強化</u> ・ SIP-adusにおける研究活動の具体的内容がわからないため、主張の根拠や背景にある考え方がわかりにくいとの指摘が出ている。 ・ そこで、各施策ごとにA4資料1枚の英語資料を作成いただいている。それらの配布およびweb公開を行う。 <u>国際会議への参加</u> ・ 年間計画に従って、TRAおよび三極会議（ポーランド、4月）、GCDC（オランダ、5月）に参加する。また、ISO TC204会議（米国、4月）において日本からダイナミックマップ関連の標準化提案を行う。 <u>第3回SIP-adus Workshop（11/15 – 11/17）の企画</u> ・ 主要6テーマに関する公開セッションとテーマごとのブレイクアウトワークショップを中心に構成する。 ・ 今年は試乗会を行わない。来年は、大規模実証実験の開始年にあたるので、体験的試乗を計画する。 ・ 各施策の研究受託者には、パネルセッションでの発表および展示を通じて成果を発表していただく。 ・ 海外からの参加を呼び掛けるために、リーフレットを作成し、4月に参加する国際会議から配布を開始する。 <u>欧州の協調型システムに関する動向</u> ・ C-ITS Platform Final ReportおよびThe 8th Workshop on Intelligent Transport Systemsの内容について情報共有した。
WGでの主な議論	<u>SIP-adus Workshopの企画について</u> ・ 国際的にも関心事である2017年度からの大規模実証実験を前面に出して、個別施策の成果が統合化される議論の流れを作るのが良い。 ・ 大規模な協調型システムの実証実験はじまろうとしている欧米で関心の高いテーマに関して、既にSIPの研究開発で成果が上がっているものがある。積極的に発表をしていただきたい。 ・ 企画内容の充実とともに、海外からの参加を促進するためにも、速やかに業者を選定して準備に着手することが重要である。